

上海

No. 33. "THE SHANGHAI."

大正二年二月十一日
第三種郵便物認可
(毎月曜日發行)

大正二年
九月廿一日
第三十三號

- 目次
 - 支那と日本の關係
 - 滬上小言
- 支那と日本の關係
 - 支那の現状は未だ安心すべきものにあらず、今後には幾多の面倒な問題を有し居りて、たゞひ袁世凱が一時的に鞏固なる政府らしきものを作りたりて、其の壽命に至りては容易に豫言し難きを、今や新内閣、熊希齡の下に組織せられ、其の閣員の顔觸決して悪しからずさればとてこれにて、支那の窮況が救はれ得るや、否を斷言し易からざる也、熊氏は其の政策中最も重きを財政の上に置き、これ素より當然の事にして、苟も支那の問題を研究するもの、其の最も重きを財政の上に置かざるはなき也、而して其の財政整理に就かざるは最大切なるは無用の冗費を除去し、出来るだけ地方及び中央の政費一切を各省民の負擔する各項の租税等に支拂ひ、なほ且つこれに
- 滬上小言
 - 支那と日本の關係
 - 滬上小言
- 支那と日本の關係
 - 支那の現状は未だ安心すべきものにあらず、今後には幾多の面倒な問題を有し居りて、たゞひ袁世凱が一時的に鞏固なる政府らしきものを作りたりて、其の壽命に至りては容易に豫言し難きを、今や新内閣、熊希齡の下に組織せられ、其の閣員の顔觸決して悪しからずさればとてこれにて、支那の窮況が救はれ得るや、否を斷言し易からざる也、熊氏は其の政策中最も重きを財政の上に置き、これ素より當然の事にして、苟も支那の問題を研究するもの、其の最も重きを財政の上に置かざるはなき也、而して其の財政整理に就かざるは最大切なるは無用の冗費を除去し、出来るだけ地方及び中央の政費一切を各省民の負擔する各項の租税等に支拂ひ、なほ且つこれに
- 滬上小言
 - 支那と日本の關係
 - 滬上小言
- 支那と日本の關係
 - 支那の現状は未だ安心すべきものにあらず、今後には幾多の面倒な問題を有し居りて、たゞひ袁世凱が一時的に鞏固なる政府らしきものを作りたりて、其の壽命に至りては容易に豫言し難きを、今や新内閣、熊希齡の下に組織せられ、其の閣員の顔觸決して悪しからずさればとてこれにて、支那の窮況が救はれ得るや、否を斷言し易からざる也、熊氏は其の政策中最も重きを財政の上に置き、これ素より當然の事にして、苟も支那の問題を研究するもの、其の最も重きを財政の上に置かざるはなき也、而して其の財政整理に就かざるは最大切なるは無用の冗費を除去し、出来るだけ地方及び中央の政費一切を各省民の負擔する各項の租税等に支拂ひ、なほ且つこれに

支那と日本の關係

滬上小言

支那の現状は未だ安心すべきものにあらず、今後には幾多の面倒な問題を有し居りて、たゞひ袁世凱が一時的に鞏固なる政府らしきものを作りたりて、其の壽命に至りては容易に豫言し難きを、今や新内閣、熊希齡の下に組織せられ、其の閣員の顔觸決して悪しからずさればとてこれにて、支那の窮況が救はれ得るや、否を斷言し易からざる也、熊氏は其の政策中最も重きを財政の上に置き、これ素より當然の事にして、苟も支那の問題を研究するもの、其の最も重きを財政の上に置かざるはなき也、而して其の財政整理に就かざるは最大切なるは無用の冗費を除去し、出来るだけ地方及び中央の政費一切を各省民の負擔する各項の租税等に支拂ひ、なほ且つこれに

除格あらしめ、之にて支那の内外債の償却、各省財政の整理並に幣制の改良等を計るの要ある也、若し夫れ此等の事をなし能はず、人民が政費の負擔をなし得ず、何等の餘裕なしとせば支那の財政は到底獨立し能はず、は我等の毎度記述したる所なりとす、

此の如き際に於て支那として最も大切なるは無用の費用を徒らに増やらしむるの覺悟あるを要すべき也、殊に外國との關係に於て生ずべき負擔を減少せしむるの要ある也、換言すれば支那は外國の事を構へざる様になす事を必し掛けるべからず、世界の諸強國に對して大に慎重事に當るを要す、殊に我が帝國の如く常に支那に對し全情を表し、支那の領土保全を目的として英國、他の列強と相約束し居る國に對して事を構ふべきにあらず也、

然るに不幸にして南京事件一たび生じてより、我が帝國の臣民は憤慨の極に達したり、若し夫れ事實の實際に於て官兵が此の如き亂暴狼藉を行はざれば此の如くには憤慨せざりしなるべし、若し夫れ支那の當局者が速かに自から處決する所ありしならんには事は容易に解決されしならん、然るに事なきに出で、連々として自から處決する所なく、日本の要求を待ちて漸く之に應せんとしてなほ且つその要求事項中に遲疑決せざる所あるが爲め、我が帝國臣民は憤慨しつゝある次第なり、

然れども、此等の問題は、やがて解決せらるべしとして、我が日本帝國臣民に對し今後若し支那及び支那人にして今次の如き亂暴狼藉並に凌辱を加ふる事あらんか、我が帝國は其の欲す所を行ひ、決して何等假借する所あらざるべき也、斷乎して其の實力の存する所により活動すべき、其の罪を問ひ將來を戒しむるに於て

何等遠慮する所あらざるべき也、我が帝國は東亞の平和を維持せんが爲めに支那及び支那人をして我が帝國に對して事を構ふるが如き不都合を行はしめざるの權威を有し居れる也、故に之を傷げんとするものは常に之を懲すべく一切の準備をなし居れり、而して我が帝國は苟も自己の體面に對し不都合の行爲をなすものに對しては何處迄も不都合をなせるものを除去し得る迄行動を開始して止まざる也、

東亞に事端を生ぜしむるは決してよき事にあらず、これが爲めに商業は阻止せられ、貿易は不振となり、國際的貿易の上に影響する所ならず、これ我等の十分に知悉し居る所ならず、而して東亞に事端を生ぜざらしむる所以のもの、一として支那及び支那人自からが東亞の平和を破るが如き行爲を敢てせざる事肝要にして、多くの場合に於て東亞の平和を破るの理由は皆支那及び支那人の不謹慎なる行動に基くもの也、これ疑を存するの要なく歴史は之を示して餘りある也、見よ日清戰爭は如何にして生ぜしか、北清事件は如何にして生ぜしか、日露戰爭は如何の爲めに生ぜしか、支那一昨年の革命の亂は如何にして生ぜしか、今次の爭亂は如何にして生ぜしか、此等の事變たる皆支那の弱國たる所以のものも説明し居るのみならず、皆支那及び支那人の不謹慎なる行動に原因して、東亞の平和を危くせしめたる次第也、而して此等の場合に日本は常に東亞の平和を維持する上に於て盡力するを怠りたる事なき也、これは過去數十年間の歴史に徴して明白なる事實也、

此の如くにして支那及び支那人は日本及び日本人と親交あるを要するは今更ら之を説く必要なく、支那及び支那人はよく政事上、通商貿易上日本及び日本人を

● 資本金 四千八百萬圓
(内拂込參千萬圓)

● 積立金 壹千八百五拾五萬圓

● 當座預金 年貳分

● 定期預金 三箇月年二分
六箇月年三分
十二箇月年四分

● 小口當座預金 月三厘

● 右小口當座預金ハ最初銀五弗以上次ヨリハ一弗以上御預リ可申候
但シ利息ハ預リタル月ト拂戻ス月並ニ五弗未満ノ殘高ニハ之ヲ付セズ



橫濱正金銀行

營業部 二七四
電話 輸入部 三〇〇七
支配人席 三〇〇三

本支店及出張所

臺北、臺中、臺南、基隆、嘉義、打狗、宜蘭、淡水、新竹、阿蘇、花蓮港、澎湖、東京、大阪、神戶、香港、廣東、汕頭、廈門、福州、九江、新嘉坡、其他各所ニ取引先アリ

上海黃浦灘路第拾六號



臺灣銀行

支配人 江崎真澄
營業部 二二六五
電話 支配人席 一三三二

諸事精々御便宜相圖可申、御用ノ御方ハ支配人席へ御電話被成下度候

信じ、協力一致東亞の平和を維持するに於て間違ひたる行動をなすを止め専心自から自國を危殆なる地位に置かめざるの工夫を怠らざるに於て今次の日本との交渉談判に於て在来より兩國間に横はれる一切の問題を和平の間に解決し、支那及び支那人は自國の現状に鑒みて敢て日本の正常なる要求を容れ罪の謝すべきは謝し、償金の支拂ふべきは之を支拂ひ、將來今回の如き凌辱を再び我が帝國及びその臣民に加へざる事を保障する支那の事をなしたる上は、日本及び日本人と親交し得らるべく、支那の平和を維持し得らるべく、支那の國力の發展もなし得べき也。

支那に於ては、其の財政の整理をなす事最も大切にして、その整理の出来る否否とは即ち支那の國家安危の岐かる、所なるは明白なる事實也、我等は支那がその財政整理に於て成功せん事を切望するもの也、而して支那が速かに其の國家存立を世界列強間に承認せらるるを希ふもの也、しかも事茲に出でずして、徒らに事を外國殊に我國に拂ふが如き事あらざれば我等の所見を以てすれば支那は到底財政の獨立を失ふのみならず、國家存立の基礎すらも失ふに至るべき也、事豈に何ぞ容易ならんや、故に敢て之を言ふもの也。

主要記事

●昨年度上海貿易(一)

昨年度に於ける支那貿易の状況を見んごせば、當上海の支那海關造冊處、即ちスタチスチカル、デパートメント、より發行せる昨年度の海關報告(レターノス、オブ、トレード、及トレード、レポート)を見るを要す、而して右の全部を通讀せば多く有益なる知識を得べし、我等は最近出

版の該報告中の上海の部を讀み其の部の統計の該報告に於て、甚だしく改良を加へられ、頗る詳細を極め居るを知れり、他の各港の報告は在來の分と同様の統計を示しあるも、上海については否らず今上海に於ける昨年度の貿易を述ぶるに先ち、今次改良せられし點を列舉し見んに、第一に上海輸出入品の價額總計を示すに外國品及び支那品に二分大別し、之を更に外國及香港よりの輸入、支那各港よりの輸入、外國及香港へ再輸出、支那各港へ再輸出、外國への輸出、支那各港への輸出と區分し、上海に輸出せられたる外國品、支那品の形勢を一目瞭然たらしめ、之を千九百二十年及び千九百二十一年の分と比較したる表を出したる、又上海の輸出入品の價額を千九百二十三年より昨年迄十年間に割當て、比較したるは頗る其の體を得居れり、又支那の輸出入品の價額表をも出し居れり、

更に又輸入の統計に於ても、在來の商品區別表を更に詳密に區分し、其の產地等をも出来る大明白に示しあり、例へばグレースシャーテングの如き七斤物以下の下分、七斤物乃至九斤物、九斤物乃至十一斤物、十一斤物乃至十五斤物以上を區別したる上、一々英國、蘭國、印度、日本等の產地によりて區分をなし在來別段の區分を示さざりし石炭の如きも一々原產地を示しあるが如き、印刷用紙其の他の紙類も日本産のものは日本産と特記しある等頗る明細に涉り居るのみならず、在來は輸入の總計のみを外國品に對し示したるに今次の分には一々外國及び香港より支那各港より輸入せるもの、又外國及び香港に再輸出せるもの、並に支那各港へ再輸出せられたるもの、數量及び其の價額を示し、且つ之れが表を出し上海のみへの純輸入高をも示したるは、實際の上海に於ける各商品の輸入の狀勢を確實に知る

を得て、實際商賣をなす人々の參考として頗る有益なる思はしむるものあり、而して今回は支那品の輸入せられたるもの數量と價額とを外國品同様の明細なる表によりて示し純輸入品の純輸入高に於て、加之に主要輸入品の純輸入高に於て千九百二十三年より昨年迄十年間の數量を示したる又これ頗る有益にして上海に於ける輸入品の過去十年間の趨勢を見るに足るを思はしむる、更に加へて常關に於ける重要輸入品についても千九百二十年より昨年迄の七年間の純輸入高數量を表にしあり、

輸出についても亦た同様、先づ支那品への再輸出の數量及び價額を示し且つ總計輸出高の數量及び價額を示し居れり、而して千九百二十二年より昨年迄の主要輸出品の數量を各品について比較したる表並びその常關に於ける千九百二十五年より昨年迄七年間の狀勢をも示しあり、内地通過の外國品及び支那品の狀亦た明白に示しあり、

又た海關の收入については、其の別表を示しあり、例へば日本よりは其の輸入税は如何程、その他、輸出税、沿岸貿易税、噸税、通過税、阿片厘金等は何程と示しある分ご右各種税を千九百二十三年以來昨年迄十年間に比較したるもの及び常關の分は千九百二十年より昨年迄の分を示し居れり、又た貴金屬及び貨幣の輸出入表は例年の分に加ふるに、殊に貨幣輸出入の狀況を示すに金、銀、銅貨の種類等も擧げたり即ち日本金貨二十圓及び十圓の高を一々區別しあるが如きこれ也、

數又た杭州の分も同様に表示しあり、又た特別の表として阿片の昨年度の輸出入表等あり、昨年度の茶の輸出表あり、生絲其他の輸出入表あり、上海保税倉庫の昨年度の狀勢、滬寧鐵道より昨年度の輸入貨物の動靜、又た滬寧、滬杭鐵道による支那貨物の動靜表等あり、此等の諸表も亦た參考とするに足るは勿論なりとす、

我等は次號より右の各統計表に基き、昨年度上海貿易の狀況並に過去十年間の各商品の有様等について説明を與ふべし故に今次は單に昨年度の上海貿易海關報告が如何に編纂せられしかを説明するに止めたり、

●四川交通の現状談(下)

本談話は二十三日號を受け引續き發表する客費りしも時局動亂の勃發に當り記事異常に簡潔せし爲め今日まで續載する事態にはつきり讀者の諒恕を要す

▲待ち遠しい川漢鐵道

次に川漢鐵道の事を一言せんに該鐵道は布設發議以來十年を経過した今日殆ど成績(工事)一般つて居ないが四川では該鐵道の(般)に於て四十年鐵道と云つて居る、で今後十年間に宜昌と成都の間に鐵路貿易を見ること云ふ事は殆ど否不可能と思はれる、汽船の航行すらしく困難であるから四川省人の快速安全な鐵道の開通を希望するは當然然れど、何にしろ巴蜀の千里萬岳を貫通せんとするのだから一と通りではない、而して右様の次第で革命以來四川省人、一般の思潮は鐵道熱盛となり資本金の調達等にも餘程便利を與へて居るし又調達も出來て居る様だ、只一般の商人は今の所矢張り汽船の方に望を囑して居るらしい、宛に角四川省と川漢鐵道とは深い因縁を有つて居る従つて之れが將來も餘程注意する價値がある、

日清汽船株式會社

上海出帆(漢口行)
 每週月夜半浦東棧橋ヨリ發
 每週土夜半郵船棧橋ヨリ發

上海支店
 電話 浦東棧橋四七五
 監督 內河一八七四
 電話 監 一〇八七

漢口宜昌線 一ヶ月六回
 漢口湘潭線 一週二回
 漢口常德線 一週一回
 九江南昌線 一月三回

○本店 東京市銀座通二丁目 七番地

○大倉益昌碼頭(浦東)事務所 (電話三〇七九)

上海九江路第七七號 第八八號

株式會社 大倉組 支店
 電話 輸入、石炭 八〇六
 輸出、會計 二八八六
 支店長室 三〇一四

○支店及出張所 大阪 橫濱 橫須賀 神戸、吳、門司、佐世保、舞鶴、沼津、京城、臺北、臺中、打狗、天津、漢口、上海、大連、北京、倫敦、紐約、漢堡、瀋州

滬寧鐵道 前二號特別急行 後七〇常州行 鎮江 前一二三普通行 前九〇常州客車 後五五特別急行 後二二特別急行 後三五常州止 無錫 前二二特別急行 前八三常州客車

▲一般經濟界の現状

阿片の栽培禁止と云ふ事は四川貿易に非常な大打撃である、一體四川と云ふ所は昔から何でも出ない物は無く、楊を除くの外は何でも盡く省内の需要を充たして十分の餘裕があり盛に外省に輸出したものである、殊に阿片、藥品、獸皮は其最も多量のだ、元來四川の阿片、貿易額は一千萬兩以上であつたから之れが栽培禁止は想像以上の打撃である、故に此の輸出入の差額を救済する爲め昨年中に於て殆んど二百萬兩以上の正貨が外省に流出した、四川の政府當局は之を救済策を講じ直ちに正貨の輸出を嚴禁したて商人は大恐慌を惹起し經濟界は少なからぬ紛擾を來した事がある、一體上海と重慶との爲替平價は上海十兩に對する重慶の九五二兩なるが増水時になると通常八百兩迄には騰貴する事がある、所が今日では如上の關係から是れが非常の下落を來し、一六〇兩甚しは、一〇〇兩と云ふ風になつて來た、輸入商は(其九割迄は綿糸布類である)非常に不利に陥つた上物品を買つて送り出さなければならぬ羽目となつた、大概は運搬上の便利な所から胡桃を買つて上海に輸出するが大部分は損失に歸する事である、

更しその困難な問題は軍票の亂發せられし事で、通貨中の三割は之の軍票である、軍票は如何しても一割乃至一割五分丈け割引せねばならぬ、然し此の問題に就ては當局者も大分頭を悩まして居るから早晩何とか救済が出来る事と思ふ、

元來四川の通貨は他省に較べれば非常に實貨が佳良で成都の造幣局で製造する者の銀貨は省内は勿論雲南貴州の一部地でも通用されて居る、近頃は四分計り重量が減じた事であるが兎に角百兩に對し七十一兩と云ふ法定の相場が通用して居る、其他湖北の銀貨が割引すれば通

ずるか墨銀は皆無である、次に一文錢は段々減じて一錢銅貨之に代はり云ふ有様なり、成都では一元に就き銅一八と云ふ割合と記載す、今から十五年前頃の話を聞くに、均一兩に就き一、二〇〇文位だつたが今、八、〇〇〇文位の事だ、要するに過去十五年間に銀貨が一割五分だけ高くなつたのだ、之は疑いもなく生活程度の上と云ふ事になる、彼の有名なりヒトホーヘンが四川を旅行した頃は苦力の賃銀は一日五百五十文位であつたうだが今日では五百文出しても充分は云へぬ、徒つて購買力も之に従つて増大して居るは事實である、四川貿易は前述の様な欠點があるにも拘らず々々好況を呈し昨年の如きは重慶商人の多くは去年革命中の損害を恢復したと傳へられて居る、今年には猶ほ多くを期待して居るが南北隔離状態の打撃を蒙つた事が少なくない、且將來四川貿易は最も有望なるを疑を存せぬ、斯様な状態を以て四川貿易の將來と云ふものは或る程度までは長足の進歩を見るが當然だと思はれる、然し盛になつたから此の方に着手するでは遅い、今から十分研究調査して置くが肝要と思ふ、現に我國の一二の保險會社は三峽航行に保險を付して居る様だが之は至極好な事だ、兎に角四川の富源を眼中に置く以上は大にやらなければならぬ、此の點に於て四川貿易の牛耳を握つて居る新利洋行諸君の努力發憤を願ひ、又我々も決して後を落ちぬ様彼先進諸氏と共に奮闘せねばならぬ云々 (完)

時事雜錄

●總統先選問題

▲先選案の通過と之に關する法案、さし八籤敷かりし總統先選問題は去

る五日の衆議院に於て一瀉千里の勢を以て通過し之を同八日の參議院に提出したるが出席者百五十八名中賛成者百十二名の多數を以て愈通過せり而して同十二日に至り兩院の會合となり衆議員出席者三百九十九名、參議員出席者百八十八名ありしが王家襄此日の主席に當り開會の辭を述べ憲法起草委員會の手に成れる正式總統選舉に關する法案を報告したり今其案の内容を擧ぐれば左の如し

- 一、總統被選者は國內に十年以上居住せる中華民國人民たること
- 二、總統選舉は議會に於て組織されたる選舉委員により行はるべし其選舉法は秘密投票によりて行はるべし其三分以上の多數を必要とし若し右投票違せざる場合には最多數を得たる二人の候補者に對し決選投票を行ひ其多數を得たるものを以て當選したるものと見做す
- 三、大總統の任期とし右任期の滿期三個月以前に於て議會選舉委員は次期の大總統を選挙すべし大總統は再選を許さず
- 四、大總統は憲法を遵守し大總統の職務を行ふことを宣誓す
- 五、大總統の位置が缺位となりし場合若しくは大總統が精神上の病氣の爲め其任務を行ふを得ざる場合には副總統は大總統に代りて事を視る但し副總統は會合をなす三個月内に新大總統の選舉を行ふべし若し選舉委員召集をなさざる場合は議會は其召集を行ふものとす
- 六、副總統の選舉は大總統の選舉法と同様に於て且つ同時に之を行ふものとす

尙は大總統の職務並に特權に關しては正式憲法完成より臨時約法に準據すべきものとす、

▲各政黨の態度

進步黨員中の一部人士中には大總統の任期を五年に改め再選を許す事とせんと主張するものもあるも、其他の黨員は皆大總統の任期を十年とし、再選を許さずと主張し居る、然るに公民黨は議會兩院議員總數四分の三に於て選舉を行ひ少くともその三分の二の投票を得て始めて大總統に選舉せらるるを要すとの條項に反對しこれ甚だ過酷の條項なりと云ひ、再選を許す事に賛成し居る、而るに國民黨は此の選舉法案を特別委員に附托するに先だち各黨の首領間に於て協議し之を議會議に上すべしと主張し居る、

正式總理を先選するにあらざれば國家を維持すること困難なりとの理由を以て通過したる今日之が選舉法の如何なご己に枝葉の問題となれり此は法理より云へば憲法と總統の輕重を知らざる處置ならん其存すれば其政舉が今日支那が衰世凱の擁立に力を致すは怪むに足らず况んや多くの議員其他は袁世凱一個人の鼻息を伺ふに日も又足らざるに於ては總統先選法に關し今更ら何を云ふの要あらんや

●減政々策次第に實行

過去一年以來主唱せられし減政々策即ち新内閣經費節減は愈々實行することとなり熊總理は去る十六日其一端として財政部編定處、統計科、庶務所、承值所、國稅籌議委員會の各機關を裁併し承值所が爲め人員淘汰せらるるもの六十餘人に達せりと云ふ、又た庫藏司を中國銀行國庫局



湖北水泥 布 棉 電 製 煤
正 紗 花 銅 紙 炭

五五路川四海上

店支海上司公菱三

(四六九二 ● 二九一話電)

本店 東京日本橋區兜町六番地

栗生 武右衛門

諸公債株式
定期現物買賣
有價證券信託

栗生洋行 支店

支配人 川岸藤太夫
經理 朱 葆 三

九江路壹號A
電話 貳〇壹六
貳貳六貳

九

に併せんとし現に該司長錢應清は任撤せられたり尙ほ梁司法總長は該部の民事刑事兩司を一司となし汪教育總長は社會教育司を撤せんとすとの事に官位は大に恐慌を來したりと云ふ但し内務交通兩部に對する淘汰は袁の勢力を借る周自齊朱啓鈞の官僚あれば容易に手を着け得ざるもの、如しとは去る十九日の北京電報の報する所なり熊總理は大政の方針として量入爲出主義を把持するものなれば此舉に出づるは今更ら珍し事にあらざれば

も就任早々人物と云はざるべからず然れども該電文中官僚あり之が妨をなし容易ならずと云ふに至りては我等が屢々云へる如く總統府内閣の問題に關係せるものにして熊總理に取りては頗る手古摺る所なるべし同じ内閣の一員たる梁啓超は辛亥革命後財政意見を発表したることありしが其大旨によれば公債幣制銀行を同時に並舉すべしと云へり熊總理の減政政策に對し彼は如何なる態度に出づるか要するに支那今日の現状としては大体に於て減政より外良策なかるべし我等は熊總理の始終此主義を堅持して萬難を排し其實行を望むものなり

●解決に近き南京事件

▲張勳意氣壯爽▼

南京事件突發するや日本に於ける輿論俄に沸騰し激昂せる民衆の熱烈或は外交方針を一變せんとの懸念あるに至りロンドンタイムズは支那問題を論じて日本を警め此場合武力を用ふるならん事を説き是れ却て分割の端を開き結局日本の爲めに不利益なりと述べたるが吾政府は十日山座公使をして談判を開始せしめ其條件は秘密に附し唯損害賠償及謝罪の範圍を出でずと極めて温和なる要求なりと言明せしめたり、第二革命の亂漸く鎮定した

る今日北京政府は徒らに事を構へて日本と相争ふを好まず十三日日本政府の穩當なる要求に對し全部承認するに決せりと云ふ、要案網の上に對しては

- (一) 支那政府は南京に於て殺害されたる三名の日本人に對し哀悼の意を表する謝罪書を日本政府に致すべし
- (二) 大將張勳は此事件に對し哀悼の意を表し自ら南京日本領事館に至り謝罪すべし
- (三) 張勳の軍隊は本事件に對し哀悼の意を表するが爲め行列を作りて日本領事館に至り謝罪すべし
- (四) 殺害されたる日本人の遺族に對し相當賠償を爲すべし
- (五) 日本人を殺害せる犯人及日本人の保護を怠りたる上官を一律に處罰すべし

第二、川崎大尉事件に關しては

- (一) 犯人を罰し其所屬隊長を免すべし
- (二) 直隸都督をして天津駐在の日本領事に謝罪せしむべし
- (三) 西村少尉事件に對しては

日本政府は一方北京に於て談判を進行せしむると同時に他方に於ては軍艦警手堂置及驅逐艦四艘を増遣して第三艦隊の勢力を増大し大に其勢威を示せり、此等の艦艇は十八日迄に南京に到着し目下同地の三艦ありて四日入港したる名和司令官は旗艦を對馬より警手に移せり、海軍の此運動は一面に於て未だ發表されざる要求條項あるが爲めなりと解するものあり曰く張勳を罷免すべし、曰く某地の駐兵を承認すべし、曰く某々地點の鐵道敷設權を讓與すべし等外聞の憶測は二三にして止まらず、最も信す可べきは張勳罷免の一項なるが人或は張勳の自暴の行爲を恐れて之を危むものあり蓋し諷刺の海軍の集中は之が爲めなりと其の間の消息は容易に窺ふべからず雖もそれ或は然らん、然るに頃者張勳を訪問せる邦人の談によれば張勳は部下の暴行より誘發せる重大なる形勢を悲觀し鬚勇彼れが如かりしもの今や意氣沮喪して又昔日の觀なかりしと云ふ解決せらるべき運命の係争問題は不日解決せらるべき運命を有すと言はざるべからず是れ獨り支那のみ、幸福ならんや吾人は一日も早く晴雲の一掃せん事を望む、

●資料

●上海の海產物概況(一)

此調査は常關海關界外路に在りて多年海產物取引をなしたる大東洋行の張君に依るものなるが海產物に引きてりて好資料に懸き悉く之を掲載すること、

▲海產物輸出の大勢

當上海に輸入せる海產物は産地側の豊凶と商業勢力範圍たる中部支那に於ける需要狀況の如何によりて多寡あり之を一概に云ひ得ざるも多きは三百七十萬兩を越へ少きは三百萬兩を下らず即ち最近三箇年の平均を採れば約三百五十萬兩内外にして此數は支那全國に輸入する水産物總額の約三分の一に當り其殆んど全部は日本品なり、而して海產物の種類をせば、昆布常に第一位を占め海參及び近年頗みに需要を惹起し數量毎年激増しつゝある各種の鹽魚に次ぎ鱈、鱈第二三位を保持し以下寒天、椎茸、海產物にあらざるも商賣上同種類なれば茲に之を加ふ、貝柱、乾蝦等の順序となり居り之等の種類は其輸入額十萬兩に達し主要位置を占め居れり而して當地輸入商の三分の二は當

地間屋の手を經重も長江一帶及び中部支那諸海港に向け移出せられ殘三分の一即ち約百萬兩内外は當地市場及此附近一帶の地に需用せらるる

▲上海海產物貿易情勢

表によりて示せば左の如し
本表は稅關統計の示す上海に於ける總額なるが恐らく實數は之以上なるべし而して其大部分は日本產、台灣產を含むしなれども多少外國產を含むものと知るべし又外國產とは即ち鹹魚、加奈太、海參、南洋產(白海產)、鱈、南洋產(乾蝦、南洋產)魚肚及魚皮、南洋及南支那(是なり、尙ほ表中輸入高に比し輸出高多きものあれば上海兩南なれば上海兩に對し)、數字は海關兩なれば上海兩に對し、一四に相當する割合なること、順序の番號は金額の多少に應じて順序附したること注意すべし

明治四十四年度統計

種類	總輸入高	總輸出高	上海總輸入高
名昆布	一五〇、六六八	一、一五七、七七一	一、一五七、七七一
長尾魚	一五〇、六六八	一、一五七、七七一	一、一五七、七七一
鹽魚	二〇八、九八八	四、二六八、三三三	四、二六八、三三三
海參	三三、五五五	二、七六、七七一	二、七六、七七一
鱈	四、五三三	三、三〇三	六、九三三
乾蝦	五、七〇九	七、九八五	四、八〇四
小形鱈	六、四九一	六、六〇〇	五、七〇九
海參白	七、二五五	四、一七四	三、三三三
椎茸	八、三三三	九、六三三	三、三三三
寒天	九、二五五	六、九三三	二、九三三
貝柱	一〇、五五五	九、八三三	一、三三三
刻昆布	一〇、二九八	六、四三三	四、六三三
乾魚	一三、四三三	四、五三三	九、九三三
淡菜	一三、三三三	一三、三三三	一三、三三三
石花菜	一五、七五五	二、四三三	一三、三三三
乾蝦	一五、三三三	三、四三三	一三、三三三
大形鱈	一五、三三三	三、四三三	一三、三三三
鮑罐誌	一五、七〇九	一、六三三	一三、三三三

東京海上保險會社
 明治火災保險會社
 日本火災保險會社
 共同火災保險會社
 東京火災保險會社

上海四川路
 代理店 三井洋行
 (電話一八一七)

文路第壹號
 申込所 山口商店
 (電話三四五九)

資本金 三百萬圓

上海本日本
 運送 火災 保險 株式 社會
 諸積立金 貳百參拾萬圓

店支海上
 號九第A路口漢界租英海上
 (番六五三一話電)

揚卷 一八七、六八、一三〇、九〇、五八〇
 推翅 一六六、五七、一四三、三三、二四七
 乾鮑 二〇〇、六五、三三、七九、七九〇
 鷄冠菜 一九七、五〇、一四六、六三、四八六
 貝殼 一三四、五六、二二、二六、二四四
 其他 一三〇、五三、一九五、一七、二七
 伏老物三 二九六、三三、三七、八、二七
 水產物三 二〇六、三三、二二、五五、七
 明骨 二五、二六、三三、二二、五五、七
 魚肚 二八、四三、三三、二二、五五、七
 魚皮 七、七、七、二、二、二、二、二、二
 甘海苔元 五七、三三、三三、三三、一、九七
 鮑皮 元 三三、三三、三三、三三、一、二二
 淺網貝元 三三、三三、三三、三三、一、二二

▲海産物輸入機關及其狀態

鹽魚、鮮魚、生介類、約五十萬兩の半額を本邦商並に外國商の手に取扱ふ外、八九萬兩に上る昆布は北海道函館昆布共同輸入組合店と稱す。各箱莊の手により又幾二五萬兩内外の所謂各種舊海産物の殆んど全部は海産物直輸入商と稱すべき海味、味、手により荷引せらるるものなり。而して此等箱莊と云ひ海味と稱する機關は何れも支那商によりて組織せられ多く輸入地の支店又は關係商店に於て仕入或は買切り或は委託扱として常上海輸入し兼ねて取引關係を海味行(舊海産物問屋)仲買鹽魚行(鹽魚問屋)に賣渡するを常とせり。此等商行は更に當地並に附近の小賣商及各地より出張せる客那即ち客商に轉賣して廣く一般需要地に向け分輸消費せらるるの順序となり居れり。而して本邦商外國商によりて直接輸入せる、荷物何れも前號各種の機關を経過するにあらざれば其賣却すこと不可能なる状態となり居れり。是を以て當地に輸入せらるる海産物は全然彼等支那商の手に支配せらるるものたるを知る。し當に之のみならず此習慣は當上海に限らず支那各港何れも同一形式となり居れば海

産物の商權は全部彼等の掌中に在り、と云ふも又誇言にあらざるなり。此等支那商の組織機關は因襲入しき習慣と鞏固なる團結とにより容易に第三者をして對等の位置に伍するを許さしめざる有様にして其機關たる店舖は即ち當地佛租界及南市に構へ居れり。鹽魚行は多く小東門附近に箱莊は永安橋に、海味及海味行は洋行街に在り。此中海味及海味行に至りては其數六七十軒に達し軒を接し一つの特殊市街を形成し台灣路、舟山路の如きは實に海産物の中心點なり。而して店舖の構へを手廣くし各種商品の鑑別と賣買の自由とを圍り後方に大抵倉庫を設け貨物の保管出入を便にし固らずに厚く且つ高き塙壁を以てし支那家屋としては實に宏壯なる建築物なり。更らに主なる輸入商を示さば左の如し

▲鹽魚取扱商 天祥洋行(米商)瑞記洋行(獨商)三井洋行(日商)大倉洋行(日商)源記(正支那商)
 ▲昆布取扱商 源記正、源裕成、惠昌、同康、震康、裕春、鼎計、山記、德大、提裕、寶興、大來洋行(日商)
 ▲舊海産物取扱商 鼎計、山記、德大、提裕、寶興、大來洋行(日商)
 舊海産物取扱商六軒は所課海味號にして日本より舊海産物を輸入する商機關團體なるが此内、大來洋行の加入し取引上特殊の利便を得居れるは外商として實に一異群を放てるものと云ふを得べし(未完)

▲旅滬商務聯合會會簿

我等は本誌第十號を以て滬上の客商と題し上海は支那側より云へば各省より來集せる所謂客商ものも、勢力尤も重要な客那の上海に於ける關係の尤も重要なを説き且つ各省客商に就き一々其内容を簡略に紹介したるが特に此等客商の組織せる旅滬客商商務聯合會なるもの、抬頭は對支那貿易業者に取りて確かに留意に値すべき團體なり。蓋し本年二月六日當地海關の脱稅取締の爲め新に輸入倉庫指定の規則を定めたるに對し該會が其規則取消方に百方力を盡し遂に其功を奏し復舊せしむるを得たる一事は以て彼等の勢力ある結果と見做すを得べし。於此有名方の役員及評議員は各省商埠に於ける有力なる實業家たるが同時に彼等の營める職業別をも知り得て多少參考となるを以て我等は此意味に於て該會の名簿を左に掲載することとせり。乃ち該會は正會長一名、副會長一名、幹事長一名、幹事四名、文牘長二名、書記二名、會計四名を置き事務を取らしめ多數の評議員を設け居れり。先づ役員を列舉し後評議員に移るべし

▲役員名簿

職務	姓名	籍名	商號	職業	住處
正會長	陳少舟	漢口	義和裕	一段絲	太平坊
副會長	鄒少谷	江西	德厚泰	一段絲	大板滄
副會長	鄒靜齋	江西	鄒義興	輸出入業	新嘉坡
幹事總長	馬乙榮	四川	馬百隆	雜貨	慶豐里
文牘長	章鴻鵬	四川	章洪源	雜貨	公順里
文牘長	帥鼎丞	長沙	帥乾昌	雜貨	長壽泰
書記	謝海如	湖南	謝海如	水會	本會
書記	白肇樂	四川	同唯義	厚記	本會
幹事員	劉長川	漢口	慶餘厚	復和	本會
幹事員	汪景揚	江西	慶餘厚	復和	本會
幹事員	李季昌	長沙	長沙	新嘉坡	本會
會計員	葉品三	南京	協興和	添慶里	本會
會計員	李和軒	四川	裕和通	怡和餘	本會
會計員	秦子種	長沙	秦和興	太古祥	本會
會計員	崔南出	漢口	東南美	聚興公	本會

▲遺失詞二首

冷血陳君索子

▲漢字新聞論調

▲元員を淘汰し軍隊を裁撤せよ (時報今日清末の舊官僚と革命の豪を集めたる新舊人材の内閣は政治上の運用上互に長短を補ひ頗る其處を得たるが其部下に對する才幹選擇と元員淘汰は尤も注意を要す文官任用法の制定固より肝要なるも這は立法機關の討論に譲り差當りては各部總長をして實際上の試験をなし黨派の新舊を問はず其才幹に視て留任せしむるか淘汰すべし。而して人材は自らは是なり我國無窮の隱患は今日の軍隊なり殊に軍興以來の烏合軍なり彼等は何れも盡國病民の種子なるはなし之を裁撤せざれば第三次第四次の革命亂事相尋ひて起り到底止む時なきなり豈に當に財

▲此の御申込は便利にして最も好機會なり

△我が社の組織、株式會社の如く營利目的なく保險契約者は即ち社員にして會社の主權者なり。
 △我が社の利益配當、目下毎年四分の配當を爲し居れり、生存中利益配當を受け而も萬一の場合には保險金を受取る事勿論

千代田生命保險相互社會

約款五千萬圓 積立金七百五十萬圓 準備金九拾萬圓

諸員當配 積立金 七拾萬圓

社創立於西曆一千九百零二年正月現在

大倉洋行 代理店

齊藤德次

本社特派員 齊藤德次

△我が社の拂濟保險、我社の利益配當は毎年保險料より差引す、故に一年一年負担は輕減すれ猶負担に堪へ難き時は拂濟保險として一時拂返に中止する事を得

△我が社の仕拂、我が社の基礎は最も鞏固に於て仕拂は最も迅速也、創業以來未だ嘗て保險金仕拂は大倉洋行へ御申越あらば直に贈呈す

昭和十一年十月二十日

政治上の關係のみならず即ち國家存亡の關係なり熊氏既に此決心あり有志の士は關同氏を助け之が實行を期すべし

▲先選總統問題 (新聞報) 先選總統問題は已に理論より事實に趨りたれば今更ら法理を以て云爲するの要なきが若し此問題に就き一言なき能はざるが先選總統主張は總統一日確定せざれば各派各界互に黨魁を擁して紛擾し已ますの理由權宜先選を主張せざるを得ずこの事由なるが這け國家の前途を慮りての事なれば賛成せるも胸中某總統あるのみにて其個人の歡心を買ひ法理の如何大局の如何を顧みず默然之を主張するものあるに至りては憲法と總統の輕重を放擲したるものにて實に共和の命脈に關する問題云はざるべからず若し考へて總統を以て先選憲法制定に移るも自然感情の作用によりて法文に影響し共和の根本弊を免れんことを思ふ餘り之を云ふ或は過度云ふものあらんが何事によらず始を憤むは何より大切なるを知るべし

▲敢て問ふ 秦憲行為は叛國なるや否や (新聞報) 張勳叛國の罪は皆之を責めざるものなきが彼を叛國者云はざるは怪訝の至りなり蓋し張勳は國憲を紊亂するものなればなり張軍入城以來凡て清清の爲め復仇するの舉動ならざるはなかり現に各報に傳へらるる記事を見れば明かり即ち五色の旗を懸けずと云ひ會見の際補安の舊禮を用ひと云ひ、大帥中軍、候補道、滿州旗人を招き江甯駐防某と大書せしめたりと云ひ辨子を獎勵すと云ひ一として前清の舊制を復活し民國に叛くの現象にあらざるをからんや、此等法獨立を承認せず警察を取消すべしとあり兵殃民の張とすのみならず秦憲者叛國者として彼を見ざるべからず、由來大總統は共和を鞏固するは已れが任なりと云へるが此種の行動を見て如何となす張をして此儘に置き置かば強強の大吏中舊君の祿を食み故君を忘れざるものある今日實に國家の大患なり豈に懼れざるべけんや

▲袁世凱張勳を利用せるの罪惡を論ず (中華日報) 張勳の南京に於ける舉動は何黨を論せず何れも攻撃しつあるが昨日の新聞報は張勳叛國の罪を云ひ共和に容れられざるの人物となせり然れども日報が大を捨て、小を問ひ張勳を叛せしめたるものは袁世凱なりと云はざれば吾人の遺憾とする所なり張勳は著名の宗社黨たるは袁之之を知る而かも彼が特に張を用ひ南京を攻めしめたるは一面張勳の滿清復仇の心を利用して民黨を殺戮せしめたるものにして一面張勳君主の思想を利用して帝制を復活せんとする先聲に外ならず昔ナポレオンが帝位を履む前に一面オーーストリア國王を迎へ欺待に至らざるなく帝制の風を鼓吹し一面雜誌を發刊し立君改治論を主張せしめたるは袁が張勳の行動を遊問せず新聞に開明專制論を吐かしめ孔子の釋典を行ひ三跪九叩首の儀を北京に行はしめたるご同一經路と見ざるべからず民の苦は袁の痛癢を感する所にあらず袁の如きものを世に存せしめばこそ人民を苦しめたるなり人民の苦は歸する所更ら黨爲反對しなき附せる結果なり今更ら黨爲反對しなきも吾人は人民の苦を思ふ餘り袁世凱の悔悟を希望す袁の才はナポレオンに及ばざるや遠し而かもナポレオンは荒嶋に流されたり能く之を思ふべし吾人は張勳の非共和の行動を惡むなり然を默許せる袁の罪の鳴論ならんや

▲經驗說を聞く (時報) 熊丙内閣は經驗派及清流派なり經驗派は皆舊官僚に於て清流派は僅かに梁啟超、張謇二氏のみ熊總理の新舊調劑の用意短乏に足るべし然れども吾人の尤も惜む所は經驗派多數を占め清流派少數を占め容易に清流派なきこととなり新政治の刷新の容易も舊官僚に便なるも彼等をして爲すあるものこそは前清は亡國に替ふことを知るべし所謂經驗は事ふ所に替ふこと云ふなり國家官を設くるは政務官と事務官なり各部總長は政務官にして事務官にあらず經驗の故を以て舊官僚を總長とするは事

務官を採用すると同様なり總長には經驗重んずるものなり交遊あり經驗あるものを人の盤據地と稱し經驗派を要すと云ひながら之に清流派を用ひたりと矛盾するも又甚だし經驗なるものは要するに人の耳目を塗飾するのみ吾人は經驗の二字を以て舊官僚の氣概揚がるを以て中國前途の爲め深く憂慮に堪へざるなり

●湖南澧州府安鄉縣にて 一宮生
八月二十六日常德府城を發す、三百担積の民船一艘に八人乗り護衛の砲船を一隻隨へ滿六日目の今日當安鄉縣に着し申候

洞庭の南部は今減水期に向ふ折柄とて濁流は河川、連河、湖沼の別なく滔々として一齊に東北に向ひ一濁千里の勢にて注ぎ居候、茫漠たる湖畔は蘆荻盛に茂り白鷺處處に飛び濁流に激する千態萬容の楊柳の風情に感ずる面白く候、此の附近は水路縱横に通ずるも多くは湖と湖と近し又湖中に堤防を造るに過ぎず、九十九折して掉す舟是は此の上もなく漫たりに候湖南と雖も此の邊は未だ洋風の臭味なく土民は鮮味、食物は「唐辛」を第一とす民船中には唐辛のみ満載せり物凄き感致し候、明後此の地を發して湖北の石首縣に向ふの筈に御座候 (九月一日)

●湖北荊州府藕池口より 一宮生
九月三日の夜は藕池口に泊す、藕池運河の出口に位し古來大鎮として著すべき繁華の地ならんと思ひしに想像は正反對、戸數僅かに五十、停泊民船も舳板を加へ三十に過ぎず、此の附近は陸地も水流も不明瞭何れの流が何れに向ひ何れの湖に注ぐか一切茫然、如何なる地圖を見るも皆甚し錯誤し、嶋が三角湖か湖か支流か常に五里霧中に嶋得ずの感あり何れを見ては河ばかり、前面の洋々として雲際に没する濁流は確かに揚子江ならんと思像し得るのみなり、運河と云ふも

●藕池口より石首縣 上西園生
學校考試の折り太平運河、藕池運河と終夜寝ずに勉強して頭に入れた藕池も来て見れば徒らに蕭瑟する寒村只河岸に一簾金局を有するのみに候

九月四日黎明順風に帆を舉げ河の對岸の同名藕池口と呼べる處に上陸、此處より長江と堤防一つ隔り小河によりて石首縣に向ひ候、石首は僅かに十五清里一時間餘にて達し申候

藕池口より石首に至る小河は増水の爲めに附近の田地一帶淹没され只高粱のみ穂を水面に顯はせるのみにて稻の如き皆水中に葬られ居り又附近貧家の莖まで此の附近一帶は石首縣小學堂の所有に係るものなりとは船頭の話に候 (九月九日)

●湖北石首縣にて 一宮生
石首縣は城壁の設すらなき一寒城に過ぎず、只附近に東岳山なるがあり、高さ五十間に過ぎざれば湖廣の大平野を一眸の裡に收め得べし、山上に古刹あり、中腹に劉備夫人が夫を慕ひと云ふ望夫石あり、頂上より望めば今更ながら楚水の雄大ななるに快哉を禁じ得ざるなり揚子江、西に藕池江、西南多數の湖を連ね水道縱横、從つて此の地の名物は蓮子なりと云ふ、衙門も舊式なれども丁寧に待遇せしは旅情を慰め餘あり

今夜も舟の上、此より汽船便なければ長江を民船にてゆくり沙市へ向ふ (九月十日)

●石首縣より沙市 一宮生
石首縣より民船を儀して發す、砲艦一艘を從へ大江を悠々と湖のシレッタキ事限なき、加之船は僅か二百担程の小舟なれば滔々として押し寄せる水程の凄じく事なし、從つて少しの逆風に決して動くを費せり、陸路によれば馬上二日にて

日本郵船株式會社

京東本日本社本

上海出帆

歐洲行 二週一回

米國行 二週一回

香港行 一週一回

日本行 一週二回以上

其他日本各港濠洲印度

朝鮮支那等諸航路有

日本郵船會社

上海支店長

石井 徹

南滿洲鐵道會社代理

大北汽船會社 店

大北鐵道會社 店

噸萬二十三數噸 ●隻餘十八船汽有所

●輸入 綿糸 綿布 雜貨

●輸出 棉花 肥料 絹綿麻布

●紅 伊藤洋行

上海福州路十五號

電話 三三三四

三九八四

●紅 伊藤洋行

漢口湖北路十九號

電話 二二八八

●本支店

大阪、神戸、京都、東京、一之宮、京城、上海、漢口、馬尼刺、

●高碑店梁格莊間

行さ得べかりして一つ後悔致したり、沿岸の稻田は只今黄金の波さながらなり

湖北省沙市にて

八日沙市に安抵す、沙市は通商港として世人の知る所となり、人口八九萬、商務稍々賑ふ在留邦人凡て三十餘人、租界置は支那町と離れ居る爲め日支人の租界内に居住する者一家だに無之候、パン

廣東韶州にて

八月三十日當韶州に到着仕り候、當地の便開け明年三月粵漢鐵道の開通と共に將來益發展の運びに向ふ可き様に候、西洋人三人何れも宣教師に候、只今は日本留學生にて難と申す仁なるが、今全省域に出張中との事に候

甘肅省平涼州より

平涼は西安以來の大郡、回教々徒八千人も有之隨分勢力を有し居り候、此の邊一帶氣候の變化驚くの外無之候、涇州にては涇水に浴して征衣を洗ひ申候者か其の翌日は日中直ちに六十度下り昨日の如き五十五度まで降下し候、甘肅は今正に雨期、毎日濡れ鼠の様になつて旅を續け居り候

甘肅省涇州にて

長武を發し甘肅に入り瓦葺を経て涇州に着致候、此の地涇水を襟にし其壞れたる城壁こう大なれ市面の衰微は甚しき蕭殺たる古驛に候

甘肅省涇州にて

此の地にて最も驚かされしは阿片及吸烟器を店頭に陳列し、或は露店に之を見し

事に候、甘肅の邊陲官邊の勢力行き届かざる事と存候も州衙門の所在地而かも衙門の近くに之を見るは聊か一驚を喫したるわけに候、從つて血色悪き意け者の阿片を吸ふを見る事少なからず候、附近の土地荒蕪、黍、高粱の類を見るも成長悪し折々牧羊、牛、馬の類を見るも、何れも點より見るも意弱遊牧の民と察せられ候

甘肅省平涼州より

甘肅の婦人は赤の襪子を穿ち居るを見受け候、當地にて三十兩の馬銀を文錢に兌換候處四萬個以上となり苦力三人にて漸く宿まで運び來り候

甘肅省平涼州より

前逢六盤の險を控へ而かも一友は病みて起たず己むなくこの地にて一人の附添を死して近くこの地を去らんとす、句々嶺嶽の險より寒むき夜夜瘦せて

甘肅省平涼州より

授勳五位 授陸軍中將 授陸軍少將衛 授陸軍少將衛 授陸軍少將衛

甘肅省平涼州より

授勳五位 授陸軍中將 授陸軍少將衛 授陸軍少將衛 授陸軍少將衛

甘肅省平涼州より

授勳五位 授陸軍中將 授陸軍少將衛 授陸軍少將衛 授陸軍少將衛

賑援の際日本入損名模を查明して賠償を處置せしめ且つ慰問せしむ

南京の賑撫

南京今回の援賑に對する賑恤せしむ、馮煦、魏家驊に命じて江蘇賑撫事宜を掌らしむ

上海紡織公司株主總會

同公司の年次株主總會は去る九月十一日午後三時物産當地支店に於て開催されたるが婦生氏議長席に就き取締役ロバートソン、殷錫章の諸氏亦出席し出席株主の株數凡る六千四百に達したりやがて議長は豫て配付し置きたる一千九百十三年六月三十日に至る一年間の營業報告に就き朗讀を省略し重要事項に付てのみ説明すべしと宣言し先づ貨借對照表に關して述べて曰く

上海紡織公司株主總會

同公司の年次株主總會は去る九月十一日午後三時物産當地支店に於て開催されたるが婦生氏議長席に就き取締役ロバートソン、殷錫章の諸氏亦出席し出席株主の株數凡る六千四百に達したりやがて議長は豫て配付し置きたる一千九百十三年六月三十日に至る一年間の營業報告に就き朗讀を省略し重要事項に付てのみ説明すべしと宣言し先づ貨借對照表に關して述べて曰く

上海紡織公司株主總會

同公司の年次株主總會は去る九月十一日午後三時物産當地支店に於て開催されたるが婦生氏議長席に就き取締役ロバートソン、殷錫章の諸氏亦出席し出席株主の株數凡る六千四百に達したりやがて議長は豫て配付し置きたる一千九百十三年六月三十日に至る一年間の營業報告に就き朗讀を省略し重要事項に付てのみ説明すべしと宣言し先づ貨借對照表に關して述べて曰く

上海紡織公司株主總會

同公司の年次株主總會は去る九月十一日午後三時物産當地支店に於て開催されたるが婦生氏議長席に就き取締役ロバートソン、殷錫章の諸氏亦出席し出席株主の株數凡る六千四百に達したりやがて議長は豫て配付し置きたる一千九百十三年六月三十日に至る一年間の營業報告に就き朗讀を省略し重要事項に付てのみ説明すべしと宣言し先づ貨借對照表に關して述べて曰く

各種の機械類 工場内に増加したれば益々製品品質を改善し得る事となり其他備品物等の増加せる事を合せて結局資産部に四萬三千五百兩の増加を示したり又綿糸紡績機の記帳價額二千五百兩は損益勘定の貸方より單に轉記せるものに係り其實却より生せる現金利得は七千七百五十兩なり

各種の機械類

高 九十九萬五千餘兩にして一見過大に失するが如しと雖も是れ全く貯藏せる棉花の價額大なるが爲めのみ綿糸綿布の在庫品は比較的小額にして皆實約濟となり引渡しの請求も滞なく行はれ居り元來年度末の六月は概ね閑散期に屬し氣候等の關係よりして取引者の希望に比し豫想外の理物を貯藏するの已なきに至るを當とす

品質精撰

醫療用藥品 ● 醫療用器械 ● 醫療用綳帶材料 ● 理化學用藥品 ● 工業用藥品 ● 玻璃藥瓶各種 ● 諸大家賣藥各種 ● 美容化粧品各種

廉價販賣 小計二十萬兩 二十萬兩 一萬一千餘兩 五十六萬七千餘兩

●上海附近の軍隊配置
海軍總長劉冠雄は今度着滬後吳淞砲台司令官李厚基と相談して上海南東及吳淞江灣嘉定龍華等の各地に駐紮する各軍隊に就き其編制を改革し軍制の統一を計ることとし從來吳淞及江陰砲台司令を兼任して居たる李厚基は今後長江一帶各要地の防務を担任することとなり尚海軍の一部は要塞地に最も密接の關係あるを以て李鼎新より常に滬甯間に軍艦及水雷艦數隻を分派して要塞地保護の任に當らしめ又海軍要塞地巡視副使たる雷震春は江北鎮撫使に任することとなり去る十六日愈々之を配置し一方袁總統及國務院に向つても之を報告したりと

●支那の郵便切手 支那郵便局は在來清朝時代の郵便切手に中華民國の四字を印し通行せしめ居たるが今同各種の郵便切手を新造したり而して其各種類は十九種あり 普通郵便切手左の如し 一、戎克印、五文、一仙、二仙、三仙、四仙、五仙、六仙、七仙、八仙、十仙、廿仙、卅仙、四、不足稅印紙、藍色(新形)五文、一仙、一仙、四仙、五仙、十仙、二十仙、三十仙 右は既に發行せられ通用し居れり

●北京軍警聯合會 北京軍警聯合會は南北政府統一前より發生せる袁世凱の私人機關なるが常に袁黨に反對するもの爲め反抗し感嚇し來りて最近に至り前清武官たりし陸昌が會長となれり云々然るに進歩黨より脱離せる國會中の新共和黨派議員が總統を先選し憲法を後定するの案に大反對するを憤り本年四月より議員の舉動を捉へ其罪狀九個條を列擧するの檄文を發せし前會に歡迎國會を團對し盛んに向を張りし聯合會が今又此の樂あるは軍警の跋扈に相違なきも此會を利用するものこそ實に怪訝の至りなり

●義勇隊尉劄會 七月二十三日の上

●中華民報の停刊 中華民報は去八月二十三日會審衙門に於て南軍勝利の虛報、袁謀殺等の罷により主筆鄧家彦を六個月禁錮に處し並に五百元の罰金を課せられたるが其後繼續して盛んに中央政府を攻撃し居りたるが營業上到底維持し難きを以て去る十八日より停刊したり

●全國商會聯合會 同會は昨年北京に於ける工商會議に發案されたるものにして各省各港に事務所を設け總事務所を上海に置き本年十月一日を以て各省より代表者を集め大會を開く筈なりしが今回の動亂の爲め來年十月に延期せり

●南洋鐵路株主總會 同公司株主總會は今回の戰爭の爲め延期せるが來る二十八日より三十日迄江西南昌の本公司に於て大會を催す由

●上海兵災善後事務所 同所は上海戰事の爲め誤傷致死者、避難流離失所者に對し救濟すること、避難者新舊普育堂清保節室に送り老者は一生養ひ幼者は習業を與へ後者は約二ヶ月新育堂に留め原籍地に送り返すことにせり而して此等災難者の引受は毎日午前十時より午後迄に應ずること、せり尚製造附近の災民に對してもうれづ救濟の道を講じつゝあり

●工學博士石藤豊太氏 當地龍華火藥製造所の技師長として明治三十八年の夏以來當地に在りし同氏は今回辭任歸國の事に決し本月廿三日當地出帆の春日丸にて家族同伴歸國の筈なり

●イ、チ、テ、ソ、ウ、ム、フ、駐北京米國代理公使たる同氏は今回歸國し華盛頓政府國務省極東局長の任に就く筈なり

●ダブリュ、エ、ア、ル、ベツ、駐北京米國公使館二等書記官たる同氏は一等書記官となり、レモンド、ビー、タレイ氏は二等書記官に昇任したり

●白岩龍平氏 日清汽船株式會社專務取締役たる同氏は去る九月十六日上海出帆阿波丸にて歸東

●宗方小太郎氏 は去る九月二十日上海出帆の近江丸にて歸朝の約二ヶ月の後回滬の筈

●大村得太郎氏 去る明治卅二年より卅九年迄當地三井物產會社にありし後口ノ津、長崎を経て目下新嘉坡同會社支配人たる同氏は去る十七日伊豫丸にて來滬暫知々慶々會合の上去る十九日同船にて新嘉坡に向へり

●土井伊八氏 瀛華洋行主たる同氏は去る十六日上海出帆の筑前丸にて歸東

●マキノ、エ、ン、氏 はブルース大佐に代りて九月十五日より上海工共居留地工部局警察長となる、ブルース大佐は未だ廿日北京に赴く筈の處都合にて未だ滬中近々北京に赴任警察顧問の職に當る筈なりと

●ダルス、バラ氏 先般來上海に來り居りし印度の高僧ダルス、バラ氏は當地尙賢堂に於て去る十八日佛教に關する講演をなせり

●河野久太郎氏 當地大倉組支配人たる同氏は來る廿五日頃北京に赴き滿鮮地方經由歸國の途に上る由

●工學博士石藤豊太氏 當地龍華火藥製造所の技師長として明治三十八年の夏以來當地に在りし同氏は今回辭任歸國の事に決し本月廿三日當地出帆の春日丸にて家族同伴歸國の筈なり

●イ、チ、テ、ソ、ウ、ム、フ、駐北京米國代理公使たる同氏は今回歸國し華盛頓政府國務省極東局長の任に就く筈なり

●ダブリュ、エ、ア、ル、ベツ、駐北京米國公使館二等書記官たる同氏は一等書記官となり、レモンド、ビー、タレイ氏は二等書記官に昇任したり

●上海兵災善後事務所 同所は上海戰事の爲め誤傷致死者、避難流離失所者に對し救濟すること、避難者新舊普育堂清保節室に送り老者は一生養ひ幼者は習業を與へ後者は約二ヶ月新育堂に留め原籍地に送り返すことにせり而して此等災難者の引受は毎日午前十時より午後迄に應ずること、せり尚製造附近の災民に對してもうれづ救濟の道を講じつゝあり

●工學博士石藤豊太氏 當地龍華火藥製造所の技師長として明治三十八年の夏以來當地に在りし同氏は今回辭任歸國の事に決し本月廿三日當地出帆の春日丸にて家族同伴歸國の筈なり

●イ、チ、テ、ソ、ウ、ム、フ、駐北京米國代理公使たる同氏は今回歸國し華盛頓政府國務省極東局長の任に就く筈なり

●ダブリュ、エ、ア、ル、ベツ、駐北京米國公使館二等書記官たる同氏は一等書記官となり、レモンド、ビー、タレイ氏は二等書記官に昇任したり

●白岩龍平氏 日清汽船株式會社專務取締役たる同氏は去る九月十六日上海出帆阿波丸にて歸東

●宗方小太郎氏 は去る九月二十日上海出帆の近江丸にて歸朝の約二ヶ月の後回滬の筈

●大村得太郎氏 去る明治卅二年より卅九年迄當地三井物產會社にありし後口ノ津、長崎を経て目下新嘉坡同會社支配人たる同氏は去る十七日伊豫丸にて來滬暫知々慶々會合の上去る十九日同船にて新嘉坡に向へり

●土井伊八氏 瀛華洋行主たる同氏は去る十六日上海出帆の筑前丸にて歸東

●マキノ、エ、ン、氏 はブルース大佐に代りて九月十五日より上海工共居留地工部局警察長となる、ブルース大佐は未だ廿日北京に赴く筈の處都合にて未だ滬中近々北京に赴任警察顧問の職に當る筈なりと

●ダルス、バラ氏 先般來上海に來り居りし印度の高僧ダルス、バラ氏は當地尙賢堂に於て去る十八日佛教に關する講演をなせり

●河野久太郎氏 當地大倉組支配人たる同氏は來る廿五日頃北京に赴き滿鮮地方經由歸國の途に上る由

●工學博士石藤豊太氏 當地龍華火藥製造所の技師長として明治三十八年の夏以來當地に在りし同氏は今回辭任歸國の事に決し本月廿三日當地出帆の春日丸にて家族同伴歸國の筈なり

●イ、チ、テ、ソ、ウ、ム、フ、駐北京米國代理公使たる同氏は今回歸國し華盛頓政府國務省極東局長の任に就く筈なり

●ダブリュ、エ、ア、ル、ベツ、駐北京米國公使館二等書記官たる同氏は一等書記官となり、レモンド、ビー、タレイ氏は二等書記官に昇任したり

●白岩龍平氏 日清汽船株式會社專務取締役たる同氏は去る九月十六日上海出帆阿波丸にて歸東

●宗方小太郎氏 は去る九月二十日上海出帆の近江丸にて歸朝の約二ヶ月の後回滬の筈

●大村得太郎氏 去る明治卅二年より卅九年迄當地三井物產會社にありし後口ノ津、長崎を経て目下新嘉坡同會社支配人たる同氏は去る十七日伊豫丸にて來滬暫知々慶々會合の上去る十九日同船にて新嘉坡に向へり

●土井伊八氏 瀛華洋行主たる同氏は去る十六日上海出帆の筑前丸にて歸東

●マキノ、エ、ン、氏 はブルース大佐に代りて九月十五日より上海工共居留地工部局警察長となる、ブルース大佐は未だ廿日北京に赴く筈の處都合にて未だ滬中近々北京に赴任警察顧問の職に當る筈なりと

●ダルス、バラ氏 先般來上海に來り居りし印度の高僧ダルス、バラ氏は當地尙賢堂に於て去る十八日佛教に關する講演をなせり

●河野久太郎氏 當地大倉組支配人たる同氏は來る廿五日頃北京に赴き滿鮮地方經由歸國の途に上る由

●工學博士石藤豊太氏 當地龍華火藥製造所の技師長として明治三十八年の夏以來當地に在りし同氏は今回辭任歸國の事に決し本月廿三日當地出帆の春日丸にて家族同伴歸國の筈なり

●イ、チ、テ、ソ、ウ、ム、フ、駐北京米國代理公使たる同氏は今回歸國し華盛頓政府國務省極東局長の任に就く筈なり

●ダブリュ、エ、ア、ル、ベツ、駐北京米國公使館二等書記官たる同氏は一等書記官となり、レモンド、ビー、タレイ氏は二等書記官に昇任したり

●白岩龍平氏 日清汽船株式會社專務取締役たる同氏は去る九月十六日上海出帆阿波丸にて歸東

●宗方小太郎氏 は去る九月二十日上海出帆の近江丸にて歸朝の約二ヶ月の後回滬の筈

●大村得太郎氏 去る明治卅二年より卅九年迄當地三井物產會社にありし後口ノ津、長崎を経て目下新嘉坡同會社支配人たる同氏は去る十七日伊豫丸にて來滬暫知々慶々會合の上去る十九日同船にて新嘉坡に向へり

●土井伊八氏 瀛華洋行主たる同氏は去る十六日上海出帆の筑前丸にて歸東

●マキノ、エ、ン、氏 はブルース大佐に代りて九月十五日より上海工共居留地工部局警察長となる、ブルース大佐は未だ廿日北京に赴く筈の處都合にて未だ滬中近々北京に赴任警察顧問の職に當る筈なりと

●ダルス、バラ氏 先般來上海に來り居りし印度の高僧ダルス、バラ氏は當地尙賢堂に於て去る十八日佛教に關する講演をなせり

●河野久太郎氏 當地大倉組支配人たる同氏は來る廿五日頃北京に赴き滿鮮地方經由歸國の途に上る由

●工學博士石藤豊太氏 當地龍華火藥製造所の技師長として明治三十八年の夏以來當地に在りし同氏は今回辭任歸國の事に決し本月廿三日當地出帆の春日丸にて家族同伴歸國の筈なり

●イ、チ、テ、ソ、ウ、ム、フ、駐北京米國代理公使たる同氏は今回歸國し華盛頓政府國務省極東局長の任に就く筈なり

●ダブリュ、エ、ア、ル、ベツ、駐北京米國公使館二等書記官たる同氏は一等書記官となり、レモンド、ビー、タレイ氏は二等書記官に昇任したり

●白岩龍平氏 日清汽船株式會社專務取締役たる同氏は去る九月十六日上海出帆阿波丸にて歸東

●宗方小太郎氏 は去る九月二十日上海出帆の近江丸にて歸朝の約二ヶ月の後回滬の筈

●大村得太郎氏 去る明治卅二年より卅九年迄當地三井物產會社にありし後口ノ津、長崎を経て目下新嘉坡同會社支配人たる同氏は去る十七日伊豫丸にて來滬暫知々慶々會合の上去る十九日同船にて新嘉坡に向へり

●土井伊八氏 瀛華洋行主たる同氏は去る十六日上海出帆の筑前丸にて歸東

●マキノ、エ、ン、氏 はブルース大佐に代りて九月十五日より上海工共居留地工部局警察長となる、ブルース大佐は未だ廿日北京に赴く筈の處都合にて未だ滬中近々北京に赴任警察顧問の職に當る筈なりと

●ダルス、バラ氏 先般來上海に來り居りし印度の高僧ダルス、バラ氏は當地尙賢堂に於て去る十八日佛教に關する講演をなせり

●河野久太郎氏 當地大倉組支配人たる同氏は來る廿五日頃北京に赴き滿鮮地方經由歸國の途に上る由

●工學博士石藤豊太氏 當地龍華火藥製造所の技師長として明治三十八年の夏以來當地に在りし同氏は今回辭任歸國の事に決し本月廿三日當地出帆の春日丸にて家族同伴歸國の筈なり

●イ、チ、テ、ソ、ウ、ム、フ、駐北京米國代理公使たる同氏は今回歸國し華盛頓政府國務省極東局長の任に就く筈なり

●ダブリュ、エ、ア、ル、ベツ、駐北京米國公使館二等書記官たる同氏は一等書記官となり、レモンド、ビー、タレイ氏は二等書記官に昇任したり

●白岩龍平氏 日清汽船株式會社專務取締役たる同氏は去る九月十六日上海出帆阿波丸にて歸東

●宗方小太郎氏 は去る九月二十日上海出帆の近江丸にて歸朝の約二ヶ月の後回滬の筈

●大村得太郎氏 去る明治卅二年より卅九年迄當地三井物產會社にありし後口ノ津、長崎を経て目下新嘉坡同會社支配人たる同氏は去る十七日伊豫丸にて來滬暫知々慶々會合の上去る十九日同船にて新嘉坡に向へり

●土井伊八氏 瀛華洋行主たる同氏は去る十六日上海出帆の筑前丸にて歸東

●マキノ、エ、ン、氏 はブルース大佐に代りて九月十五日より上海工共居留地工部局警察長となる、ブルース大佐は未だ廿日北京に赴く筈の處都合にて未だ滬中近々北京に赴任警察顧問の職に當る筈なりと

●ダルス、バラ氏 先般來上海に來り居りし印度の高僧ダルス、バラ氏は當地尙賢堂に於て去る十八日佛教に關する講演をなせり

●河野久太郎氏 當地大倉組支配人たる同氏は來る廿五日頃北京に赴き滿鮮地方經由歸國の途に上る由

●工學博士石藤豊太氏 當地龍華火藥製造所の技師長として明治三十八年の夏以來當地に在りし同氏は今回辭任歸國の事に決し本月廿三日當地出帆の春日丸にて家族同伴歸國の筈なり

●イ、チ、テ、ソ、ウ、ム、フ、駐北京米國代理公使たる同氏は今回歸國し華盛頓政府國務省極東局長の任に就く筈なり

●ダブリュ、エ、ア、ル、ベツ、駐北京米國公使館二等書記官たる同氏は一等書記官となり、レモンド、ビー、タレイ氏は二等書記官に昇任したり

●白岩龍平氏 日清汽船株式會社專務取締役たる同氏は去る九月十六日上海出帆阿波丸にて歸東

●宗方小太郎氏 は去る九月二十日上海出帆の近江丸にて歸朝の約二ヶ月の後回滬の筈

●大村得太郎氏 去る明治卅二年より卅九年迄當地三井物產會社にありし後口ノ津、長崎を経て目下新嘉坡同會社支配人たる同氏は去る十七日伊豫丸にて來滬暫知々慶々會合の上去る十九日同船にて新嘉坡に向へり

●土井伊八氏 瀛華洋行主たる同氏は去る十六日上海出帆の筑前丸にて歸東

●マキノ、エ、ン、氏 はブルース大佐に代りて九月十五日より上海工共居留地工部局警察長となる、ブルース大佐は未だ廿日北京に赴く筈の處都合にて未だ滬中近々北京に赴任警察顧問の職に當る筈なりと

●ダルス、バラ氏 先般來上海に來り居りし印度の高僧ダルス、バラ氏は當地尙賢堂に於て去る十八日佛教に關する講演をなせり

●河野久太郎氏 當地大倉組支配人たる同氏は來る廿五日頃北京に赴き滿鮮地方經由歸國の途に上る由

●工學博士石藤豊太氏 當地龍華火藥製造所の技師長として明治三十八年の夏以來當地に在りし同氏は今回辭任歸國の事に決し本月廿三日當地出帆の春日丸にて家族同伴歸國の筈なり

●イ、チ、テ、ソ、ウ、ム、フ、駐北京米國代理公使たる同氏は今回歸國し華盛頓政府國務省極東局長の任に就く筈なり

●ダブリュ、エ、ア、ル、ベツ、駐北京米國公使館二等書記官たる同氏は一等書記官となり、レモンド、ビー、タレイ氏は二等書記官に昇任したり

●白岩龍平氏 日清汽船株式會社專務取締役たる同氏は去る九月十六日上海出帆阿波丸にて歸東

●宗方小太郎氏 は去る九月二十日上海出帆の近江丸にて歸朝の約二ヶ月の後回滬の筈

●大村得太郎氏 去る明治卅二年より卅九年迄當地三井物產會社にありし後口ノ津、長崎を経て目下新嘉坡同會社支配人たる同氏は去る十七日伊豫丸にて來滬暫知々慶々會合の上去る十九日同船にて新嘉坡に向へり

●土井伊八氏 瀛華洋行主たる同氏は去る十六日上海出帆の筑前丸にて歸東

●マキノ、エ、ン、氏 はブルース大佐に代りて九月十五日より上海工共居留地工部局警察長となる、ブルース大佐は未だ廿日北京に赴く筈の處都合にて未だ滬中近々北京に赴任警察顧問の職に當る筈なりと

●ダルス、バラ氏 先般來上海に來り居りし印度の高僧ダルス、バラ氏は當地尙賢堂に於て去る十八日佛教に關する講演をなせり

●河野久太郎氏 當地大倉組支配人たる同氏は來る廿五日頃北京に赴き滿鮮地方經由歸國の途に上る由

●工學博士石藤豊太氏 當地龍華火藥製造所の技師長として明治三十八年の夏以來當地に在りし同氏は今回辭任歸國の事に決し本月廿三日當地出帆の春日丸にて家族同伴歸國の筈なり

●イ、チ、テ、ソ、ウ、ム、フ、駐北京米國代理公使たる同氏は今回歸國し華盛頓政府國務省極東局長の任に就く筈なり

●ダブリュ、エ、ア、ル、ベツ、駐北京米國公使館二等書記官たる同氏は一等書記官となり、レモンド、ビー、タレイ氏は二等書記官に昇任したり

●白岩龍平氏 日清汽船株式會社專務取締役たる同氏は去る九月十六日上海出帆阿波丸にて歸東

●宗方小太郎氏 は去る九月二十日上海出帆の近江丸にて歸朝の約二ヶ月の後回滬の筈

●大村得太郎氏 去る明治卅二年より卅九年迄當地三井物產會社にありし後口ノ津、長崎を経て目下新嘉坡同會社支配人たる同氏は去る十七日伊豫丸にて來滬暫知々慶々會合の上去る十九日同船にて新嘉坡に向へり

●土井伊八氏 瀛華洋行主たる同氏は去る十六日上海出帆の筑前丸にて歸東

●マキノ、エ、ン、氏 はブルース大佐に代りて九月十五日より上海工共居留地工部局警察長となる、ブルース大佐は未だ廿日北京に赴く筈の處都合にて未だ滬中近々北京に赴任警察顧問の職に當る筈なりと

●ダルス、バラ氏 先般來上海に來り居りし印度の高僧ダルス、バラ氏は當地尙賢堂に於て去る十八日佛教に關する講演をなせり

●河野久太郎氏 當地大倉組支配人たる同氏は來る廿五日頃北京に赴き滿鮮地方經由歸國の途に上る由

●工學博士石藤豊太氏 當地龍華火藥製造所の技師長として明治三十八年の夏以來當地に在りし同氏は今回辭任歸國の事に決し本月廿三日當地出帆の春日丸にて家族同伴歸國の筈なり

●イ、チ、テ、ソ、ウ、ム、フ、駐北京米國代理公使たる同氏は今回歸國し華盛頓政府國務省極東局長の任に就く筈なり

●ダブリュ、エ、ア、ル、ベツ、駐北京米國公使館二等書記官たる同氏は一等書記官となり、レモンド、ビー、タレイ氏は二等書記官に昇任したり

●白岩龍平氏 日清汽船株式會社專務取締役たる同氏は去る九月十六日上海出帆阿波丸にて歸東

●宗方小太郎氏 は去る九月二十日上海出帆の近江丸にて歸朝の約二ヶ月の後回滬の筈

●大村得太郎氏 去る明治卅二年より卅九年迄當地三井物產會社にありし後口ノ津、長崎を経て目下新嘉坡同會社支配人たる同氏は去る十七日伊豫丸にて來滬暫知々慶々會合の上去る十九日同船にて新嘉坡に向へり

●土井伊八氏 瀛華洋行主たる同氏は去る十六日上海出帆の筑前丸にて歸東

●マキノ、エ、ン、氏 はブルース大佐に代りて九月十五日より上海工共居留地工部局警察長となる、ブルース大佐は未だ廿日北京に赴く筈の處都合にて未だ滬中近々北京に赴任警察顧問の職に當る筈なりと

●ダルス、バラ氏 先般來上海に來り居りし印度の高僧ダルス、バラ氏は當地尙賢堂に於て去る十八日佛教に關する講演をなせり

●河野久太郎氏 當地大倉組支配人たる同氏は來る廿五日頃北京に赴き滿鮮地方經由歸國の途に上る由

●工學博士石藤豊太氏 當地龍華火藥製造所の技師長として明治三十八年の夏以來當地に在りし同氏は今回辭任歸國の事に決し本月廿三日當地出帆の春日丸にて家族同伴歸國の筈なり

●イ、チ、テ、ソ、ウ、ム、フ、駐北京米國代理公使たる同氏は今回歸國し華盛頓政府國務省極東局長の任に就く筈なり

●ダブリュ、エ、ア、ル、ベツ、駐北京米國公使館二等書記官たる同氏は一等書記官となり、レモンド、ビー、タレイ氏は二等書記官に昇任したり

●白岩龍平氏 日清汽船株式會社專務取締役たる同氏は去る九月十六日上海出帆阿波丸にて歸東

●宗方小太郎氏 は去る九月二十日上海出帆の近江丸にて歸朝の約二ヶ月の後回滬の筈

●大村得太郎氏 去る明治卅二年より卅九年迄當地三井物產會社にありし後口ノ津、長崎を経て目下新嘉坡同會社支配人たる同氏は去る十七日伊豫丸にて來滬暫知々慶々會合の上去る十九日同船にて新嘉坡に向へり

●土井伊八氏 瀛華洋行主たる同氏は去る十六日上海出帆の筑前丸にて歸東

●マキノ、エ、ン、氏 はブルース大佐に代りて九月十五日より上海工共居留地工部局警察長となる、ブルース大佐は未だ廿日北京に赴く筈の處都合にて未だ滬中近々北京に赴任警察顧問の職に當る筈なりと

●ダルス、バラ氏 先般來上海に來り居りし印度の高僧ダルス、バラ氏は當地尙賢堂に於て去る十八日佛教に關する講演をなせり

●河野久太郎氏 當地大倉組支配人たる同氏は來る廿五日頃北京に赴き滿鮮地方經由歸國の途に上る由

●工學博士石藤豊太氏 當地龍華火藥製造所の技師長として明治三十八年の夏以來當地に在りし同氏は今回辭任歸國の事に決し本月廿三日當地出帆の春日丸にて家族同伴歸國の筈なり

●イ、チ、テ、ソ、ウ、ム、フ、駐北京米國代理公使たる同氏は今回歸國し華盛頓政府國務省極東局長の任に就く筈なり

●ダブリュ、エ、ア、ル、ベツ、駐北京米國公使館二等書記官たる同氏は一等書記官となり、レモンド、ビー、タレイ氏は二等書記官に昇任したり

●白岩龍平氏 日清汽船株式會社專務取締役たる同氏は去る九月十六日上海出帆阿波丸にて歸東

●宗方小太郎氏 は去る九月二十日上海出帆の近江丸にて歸朝の約二ヶ月の後回滬の筈

●大村得太郎氏 去る明治卅二年より卅九年迄當地三井物產會社にありし後口ノ津、長崎を経て目下新嘉坡同會社支配人たる同氏は去る十七日伊豫丸にて來滬暫知々慶々會合の上去る十九日同船にて新嘉坡に向へり

●土井伊八氏 瀛華洋行主たる同氏は去る十六日上海出帆の筑前丸にて歸東

●マキノ、エ、ン、氏 はブルース大佐に代りて九月十五日より上海工共居留地工部局警察長となる、ブルース大佐は未だ廿日北京に赴く筈の處都合にて未だ滬中近々北京に赴任警察顧問の職に當る筈なりと

●ダルス、バラ氏 先般來上海に來り居りし印度の高僧ダルス、バラ氏は當地尙賢堂に於て去る十八日佛教に關する講演をなせり

●河野久太郎氏 當地大倉組支配人たる同氏は來る廿五日頃北京に赴き滿鮮地方經由歸國の途に上る由

●工學博士石藤豊太氏 當地龍華火藥製造所の技師長として明治三十八年の夏以來當地に在りし同氏は今回辭任歸國の事に決し本月廿三日當地出帆の春日丸にて家族同伴歸國の筈なり

●イ、チ、テ、ソ、ウ、ム、フ、駐北京米國代理公使たる同氏は今回歸國し華盛頓政府國務省極東局長の任に就く筈なり

●ダブリュ、エ、ア、ル、ベツ、駐北京米國公使館二等書記官たる同氏は一等書記官となり、レモンド、ビー、タレイ氏は二等書記官に昇任したり

●白岩龍平氏 日清汽船株式會社專

上海港輸出入統計

本月十二日より同十八日に至る一週開中に於ける、上海港に、日本々土、朝鮮、台灣、大連間貿易の形勢は左の如し

輸出の部

(一)日本本土への輸出

Table listing export items to Japan such as 野苧種子, 野苧種子, 野苧種子, etc.

(二)朝鮮への輸出

Table listing export items to Korea such as 紙巻煙草, 晒金巾, etc.

Table listing other export items such as 絹布縮緬類, 南京木綿, etc.

(四)大連への輸出

Table listing export items to Dalian such as 白金巾, バナ, etc.

(三)台湾への輸出

Table listing export items to Taiwan such as 蠟燭, 赤砂糖, etc.

(二)日本本土よりの輸入

Table listing import items from Japan such as 捲煙草用紙, 細綾木綿, etc.

(一)日本本土よりの輸入

Table listing import items from Japan such as 黄銅線, ゴム靴, etc.

(三)台湾よりの輸入

Table listing import items from Taiwan such as 瓜子, 梨付更紗木綿, etc.

Table listing other import items such as 銀塊及爲替相場, etc.

金融市況

至九月十八日 週後半に入り銀塊及爲替相場、銀塊は\$2より\$1.75

至九月十八日 週後半に入り銀塊は\$2より\$1.75

各種商況

週中の商況一般に強氣にして活潑なるを見たり、殊に荷捌の頗るよく繼續し居るは満足すべき状態にして、綿糸の荷捌は殊に良好なり、棉布類亦た同様の有様なり、北支那各市場よりの注文多少減じたるも四川に於ける商内



東亞公司書藥局

上海河南路工部局北隣

(電話一七三四)

支那各書出版販賣

本日及び支那書籍取次販賣

文具運動器具及び風琴樂器

各學校社會及商店用品類

日水月他各種藥製販賣

仁丹將活胃腸田等一等販賣

醫療工業用品及本日各賣藥

石鹼香水齒粉其化粧品

の恢復は之を補ひ得て十分なり、四川方面よりも綿絲の注文多く棉布類亦た之に伴ひ商談も綿絲も有り、揚子江各地より注文も荷捌も十分に行はれ居り、支那各地の商況一般に恢復の狀明白となり居れり、本年は今回の争亂にて取引全體に遅れ居ること九、十月月間に減水期前の取引を終了せざるべからず、殊に四川の如き遠隔の地に對しての取引は出來る丈内に於ける爲の要ある爲も今後數週間に於ける貨物の運搬は頗る活潑なるべし、當地海關に於ける收入の如きも本月前半期の金高は最近に於けるレコードを破り居れりとの事なり、一般に輸出も輸入も好況を呈し來りし故一時停滯し居たる爲も非觀し居たる人々も昨今は頗る樂觀的の言をなしたる、値段の如きも仲々強氣を示し居れり

▲外國棉 週中ミッドリング現物相場又々騰貴したりワッアール市現物相場七片五三となりし十二月物一月物は安値となり、六片八六を唱ふベンガル物五片四分の三、埃及物十片一〇にして共に騰貴し居れり、紐育市況は現物十三弗廿五仙十月物十三弗廿九仙、十二月物十三弗廿四仙にして皆な今日迄の最高價なり、マンチエスター市況は値段あまり高値につき取引出來ずとあり

▲支那棉 近時雨量過多の狀ありし秋穫は頗る進捗し生産高の三分の一は既に採花済となりれば好天氣さへ續けばまづ半年の秋穫あり、相當の供給ある等なり、値段は又た新綿に對し舊に復し上昇したり、通州物既に市場に現はれ二十五兩乃至二十六兩を唱へ、太倉物二十四兩八分、四物、寧波物は二十四兩、北市種十二兩五仙南市種十一兩五仙、週中日本向輸出高三百七十四担にして各地への輸出總高三千二百九十六担なり

▲日本綿絲 週中取引高平時の如くに進み來り千八百俵の商内あり、直段も一兩前後の騰貴を見たり即ち十六手物千四百俵百六兩乃至百六兩五厘、二十手物千四百俵百十兩乃至百十兩一厘にして二十五兩乃至一兩半の騰貴なり、最近入電三品相場によるも亦た騰貴を示し居れり、即ち常百四十四圓九十錢中百四十五圓九十錢先百四十五圓十錢とあり

▲印度綿絲 週中相當に活氣あり、四川、牛莊、天津より十手物、青島及び揚子江筋より十二手物、江西、漢口等の市場より二十手物の注文あり、直段も相當にしてまづ一兩高を示し居れり、週中取引高は四千九百三十七俵あり、即ち十手物千二百七十俵九十二兩乃至百一兩五厘、十二手物二千六百十五俵九十七兩五厘乃至百二兩、二十手物千〇五十二俵百四兩乃至百六兩五厘而して週中入荷は汽船アツサニ號にて四千百廿五俵と孟買棉花八十三俵又たラングロン丸にて千四百七十六俵ありとあり

▲支那綿絲 棉花の値段騰貴の結果値段騰貴し更に騰貴の一方に在り、週中取引高千五百俵あり即ち

十六手 紅龍 一〇〇〇俵 百四兩
同 雲孔雀 二〇〇 百五兩
同 水月 三〇〇 百八兩
而して右の外十六手物の中には百十六兩の直段を稱ふるものありとの事なり、パンドン市況を見るに十手物九十三兩二厘五分乃至九十六兩七厘五分、十二手物九十二兩七厘五分乃至百一兩二厘五分、十四手物九十五兩二厘五分乃至百三兩七厘五分、十六手物九十九兩二厘五分乃至百六兩二厘五分、二十手物百七兩二厘五分乃至百八兩七厘五分

▲倫敦銅相場 十七日は五磅台突破したるが其後下向し七十三磅となれり今本月十八日より同廿日に至る相場左の如し

G, M, B 電氣銅 〇〇片
七四、二、六 七八、〇〇〇
十九日 七三、五、〇 七八、一〇〇
二十日 七三、一、五〇 七八、五、〇
▲雜貨 中秋節も已に過ぎ弗々時計多額等の取引は來れりしが未だ充分の景氣とはならず冬頃に至ては容易に引合はざる有様あり現に大阪製造元にて本年の製帽見合せの状態にあり要するに大体に於て日本よりの輸入はドン／＼着荷し居るは事實なるも之等を取扱ふ商人の引合は到底期待せられざるもの、商人の石炭 日本に於ける炭況は炭炭乏の爲め今に騰貴の有様にあるが當上海の

上海口榮路七一五〇
電話四〇七五番

仁壽堂大藥房

文路第二三〇號
廣光堂大藥房

上海口榮路七一五〇
電話四〇七五番

仁壽堂大藥房

文路第二三〇號
廣光堂大藥房

上海口榮路七一五〇
電話四〇七五番

仁壽堂大藥房

文路第二三〇號
廣光堂大藥房

撫順炭 一、七五七
▲他社扱
唐津炭 四一八〇
本溪湖炭 一、〇〇〇
開平炭 八、八二六
▲砂糖 長江一帶秩序稍々回復したるも金融未だ圓滑を欠けるを以て十分の活躍を見る能はず然れども久敷高内途絶へ居りため幾分景氣を現はし積漬精糖は前後後尚同値にて三千俵を賣り跡又引合中との事あり、日本精糖は猶見送り居れり、香港精糖亦新情報なし
爪哇直航船 二三日入港合計四萬八千俵の各種糖を齎せり詳細は後報する數あり

▲大豆 浦口大豆は時期尚早き爲め出廻はりなく漢口、九江、常州物少しづつ着荷ありと雖も南支那筋買進の爲め品薄相場高し、
常州大豆 三兩一厘五分 在荷約一千俵
漢口大豆 三兩 同一千五百俵
▲豌豆 是れ亦在荷薄相場手堅し
杭州物 二兩六分 約七百俵
寧波物 二兩五分 約二百俵
▲種粕 高直豫想の本品は其後益々氣配強し昨今十、十一月渡引取りあり
藥付 百六十五兩
藥無 百八十兩
▲棉實粕 相揚立たず
▲海産物 △昆布 荷動き中々活潑にして園昆布は當地殆ど其跡を絶つに至れり但し新昆布の入荷絶へざる爲め相場は然く上騰するに至らず三兩二厘五分保合△二番鮑 新上十五兩乃至十四兩五分在荷多からず△貝柱 品不足丸小五十九兩大五十五兩三角四八八九兩△鹽鱈 愈々鹽魚需用期に入りたれど品不足にて相場宜しく目下五兩壹匁

製造元 帝國礦株式會社
輸入元 泉永井分行
電話 一五八四

三平野水
ツ ジンジャー
矢 オレンジ

虹口吳淞路
宮本商店
電話三五九七
虹口市場前
松本商店
電話三〇五五

廣告料
紙本掲載廣告の特金は行數の多少掲載期間の長短に依り料金を御相談可致候間御御の方は端書又は電話にて御一報被下度候
文路二七日本堂轉交
發行所 春申社
上海電話三〇八三
編輯兼發行人 上海電話二七三七 佐原篤介
印刷 上海電話一八三六 蘆澤多美次
發行所 上海電話三〇七三 春申社
上海電話三〇八三 春申社

本紙定價(前金)
一部 銀十仙 金十錢
一ヶ月(郵部) 銀四十仙 金四十錢
半年(郵部) 銀貳百二十仙 金貳百二十錢
一年(郵部) 銀四百四十仙 金四百四十錢
振替口座 福岡四七〇五番
支那上海 春申社
大正二年九月二十二日

歐亞聯絡最捷交通線

◎急行列車ハ最新式ノ寢臺車
一等車及食堂車ヲ聯結致居候

◎大連長春間急行列車

大連發 月、水曜日午後三時二十分 莫斯科行
土曜日 午後三時二十分 聖彼得堡行
長春着 火、木、日曜日午後六時五十分

◎滿鮮直通(釜山長春間)急行列車

釜山發 日、火、金曜日午後九時五十分
安東發 月、水、土曜日午後四時四十分
長春着 火、木、日曜日午後六時五十分

◎長春大連間急行列車

長春發 月、水、金曜日午前七時
大連着 同 午後十時二十分

上り

◎滿鮮直通(長春釜山間)急行列車

長春發 月、水、金曜日午前七時
奉天發 同 午後二時四十分
釜山着 火、木、土曜日午後七時五十分

◎大連發、水、土曜日及大連着、水、金曜日急行列車ハ上海航
路汽船ニ接續致候

歐大	哈爾濱	莫斯科	聖彼得堡	亞連	伯里	倫敦
二十四時間	十日間	十日間	十一日間	十二日間	十二日間	十二日間半

鐵道旅館

ルテホトマヤ

大連、旅順、奉天、長春ニアリ
設備完全 食物精選
大連市外星方浦ニハ海岸はてるアリ

(YAMATO)號畧報電

大連上海航路

使用船

神戶丸 九三八七六噸
神戶丸 九二八七七噸

兩船共船内無線電信局アリ

大連發木、土曜日正午 上海着土、月曜日午前

上海發月、水曜日午前 大連着水、金曜日午前

上海大連共ニ棧橋繫留

速力神戶丸九十九海里航海時間三十一時間
神戶丸九十四海里航海時間四十二時間

(MANSEN)號畧報電

撫順炭

大連、營口、天津、芝罘、
上海、香港、新嘉坡、彼南其他東洋諸港ニ於テ常
ニ潤澤ナル貯炭ノ準備アリ

南滿洲鐵道株式會社

本社 ○ 大連市東公園町 支社 ○ 東京市麴町區有樂町

(MANTETSU)號畧報電(番九一二連大)金貯替振